

# 1.業績概要

# 平成24年度決算の概要(連結・3行単体合算)

- ◆貸出債権の証券化に伴う譲渡益を計上したことを主因として、コア業務純益は前年同期比42億円増加。
- ◆加えて、国債等債券損益の増加等により、当期純利益は前年同期比93億円増加し272億円を計上。

(億円)

	YMFG連結		3行合算			
		前年同期比		前年同期比	山口+北九州	もみじ
コア業務粗利益	1,185	15	1,128	8	△ 31	39
資金利益	941	△ 62	945	△ 62	△ 32	△ 30
役務取引等利益	148	4	104	1	2	△ 1
その他業務利益	79	69	78	67	△ 3	70
経費(△) (除く臨時処理分)	865	△ 26	786	△ 23	△ 3	△ 20
人件費(△)	-	-	359	△ 9	△ 2	△ 7
物件費(△)	-	-	389	△ 6	△ 0	△ 5
コア業務純益	319	42	341	32	△ 27	59
経常利益	438	74	457	63	6	57
当期純利益	272	93	304	89	38	50
与信費用	2	△ 1	1	△ 2	△ 27	25

## 資金利益の内訳(3行合算)

(億円)

	25/3期	前年同期比
資金利益	945	△ 62
資金運用収益	1,032	△ 76
貸出金利息	844	△ 56
有価証券利息	170	△ 19
資金調達費用	87	△ 14
預金NCD利息	40	△ 2
その他	0	△ 0

貸出債権証券化に伴う譲渡益を計上したことを主因として、その他業務利益が前年同期比70億円増加。

## 連単差

3行合算当期純利益	304億円
のれん償却費(もみじ銀行他)	△ 49億円
FG連結調整等	18億円
子銀行連結調整	△ 2億円
YMFG連結純利益	272億円

※単位未満は切捨て表示、3行合算については3行単体の単純合算数値

# 山口銀行・北九州銀行の平成24年度決算概要

- ◆利鞘の縮小による資金利益の減少を主因に、コア業務純益は前年同期比27億円減少。
- ◆国債等債券損益増加や与信費用改善、法人税減少等により、当期純利益は前年同期比38億円増加。

(億円)

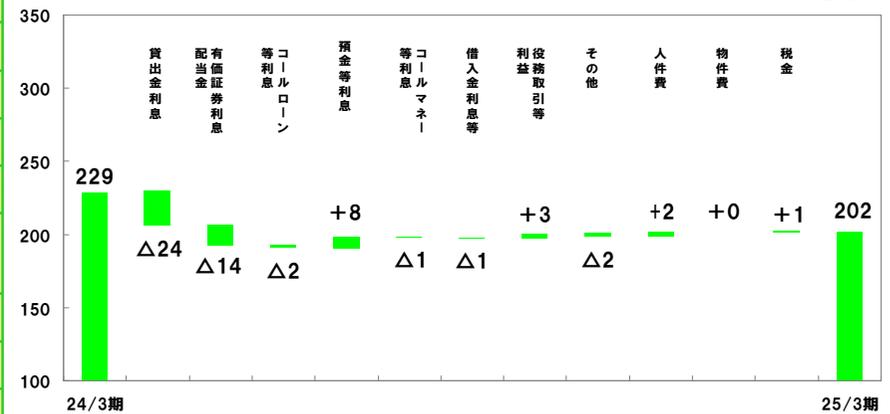
	山口+北九州		山口銀行 25/3期	北九州銀行 25/3期
	25/3期	前年同期比		
経常収益	927	△ 35	818	127
業務粗利益	775	△ 1	666	108
資金利益	610	△ 32	511	99
役務取引等利益	72	2	65	7
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	91 (87)	25 (29)	90 (87)	1 (△ 0)
経費(除く臨時処理分)(△)	485	△ 3	395	89
うち人件費(△)	217	△ 2	176	41
うち物件費(△)	244	△ 0	201	43
一般貸倒引当金繰入額(△)	△ 46	△ 23	-	-
業務純益	336	25	271	18
<b>コア業務純益</b>	<b>202</b>	<b>△ 27</b>	<b>184</b>	<b>18</b>
臨時損益	△ 49	△ 19	△ 5	2
うち不良債権処理額(△)	30	△ 4	1	0
うち株式等関係損益	△ 17	△ 19	△ 17	0
経常利益	286	6	265	20
特別損益	△ 2	2	△ 0	△ 1
税引前当期純利益	284	8	265	19
<b>当期純利益</b>	<b>179</b>	<b>38</b>	<b>167</b>	<b>12</b>
与信関係費用	△ 16	△ 27	△ 14	△ 1

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

## コア業務純益

202億円(前年同期比 △27億円)

※コア業務純益:一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益 (億円)



## 有価証券関係損益

70億円(前年同期比 +9億円)

(億円)	25/3期	前年同期比
国債等債券損益	87	29
売却損益	91	25
償還損益	△ 4	4
株式等損益	△ 17	△ 19
売却損益	5	△ 11
償却額(減損処理)	△ 22	△ 8

## 与信関係費用

△16億円(前年同期比 △27億円)

(億円)	25/3期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△ 46	△ 23
個別貸倒引当金繰入額	28	△ 4

# もみじ銀行の平成24年度決算概要

- ◆貸出債権の証券化に伴う譲渡益を計上したことを主因として、コア業務純益は前年同期比59億円増加。
- ◆経常利益増加に対し法人税等は前期比微増に止まったため、当期純利益は前年同期比50億円増加。

(億円)

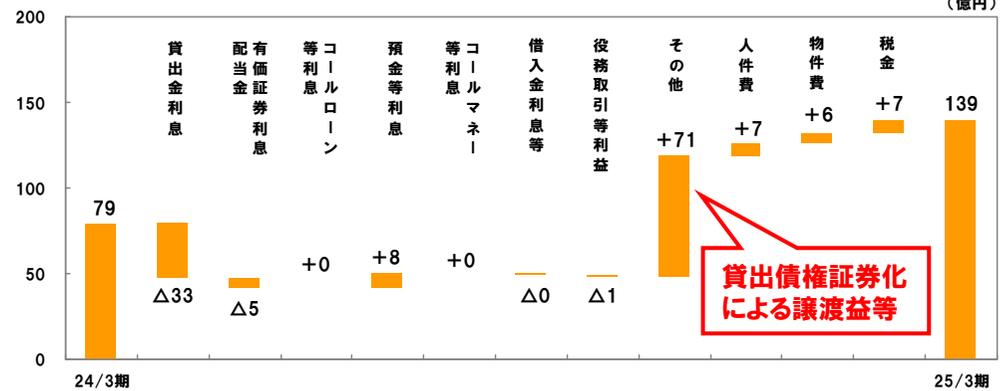
	25/3期	前年同期比
経常収益	585	45
業務粗利益	509	56
資金利益	334	△ 30
役務取引等利益	32	△ 1
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	142 (67)	88 (17)
経費(除く臨時処理分)(△)	301	△ 20
うち人件費(△)	141	△ 7
うち物件費(△)	144	△ 5
一般貸倒引当金繰入額(△)	△ 20	△ 20
業務純益	227	96
<b>コア業務純益</b>	<b>139</b>	<b>59</b>
臨時損益	△ 56	△ 38
うち不良債権処理額(△)	38	35
うち株式等関係損益	△ 13	△ 3
経常利益	170	57
特別損益	△ 0	△ 5
税引前当期純利益	170	52
<b>当期純利益</b>	<b>125</b>	<b>50</b>
与信関係費用	18	25

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

## コア業務純益

139億円(前年同期比 +59億円)

※コア業務純益:一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益



## 有価証券関係損益

53億円(前年同期比 +13億円)

(億円)	25/3期	前年同期比
国債等債券損益	67	17
売却損益	70	19
償還損益	△ 2	△ 2
株式等損益	△ 13	△ 3
売却損益	△ 3	△ 2
償却額(減損処理)	△ 10	0

## 与信関係費用

18億円(前年同期比 +25億円)

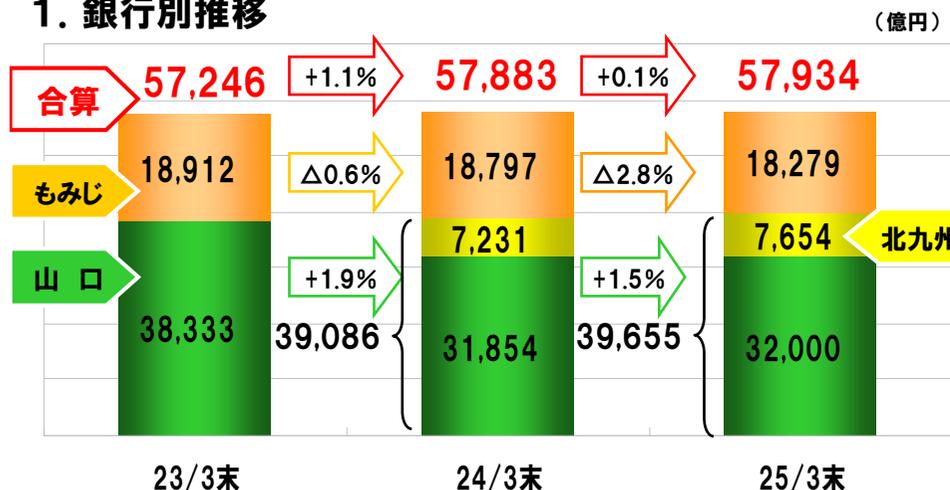
(億円)	25/3期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△ 20	25
個別貸倒引当金繰入額	35	0

# 預貸金の状況

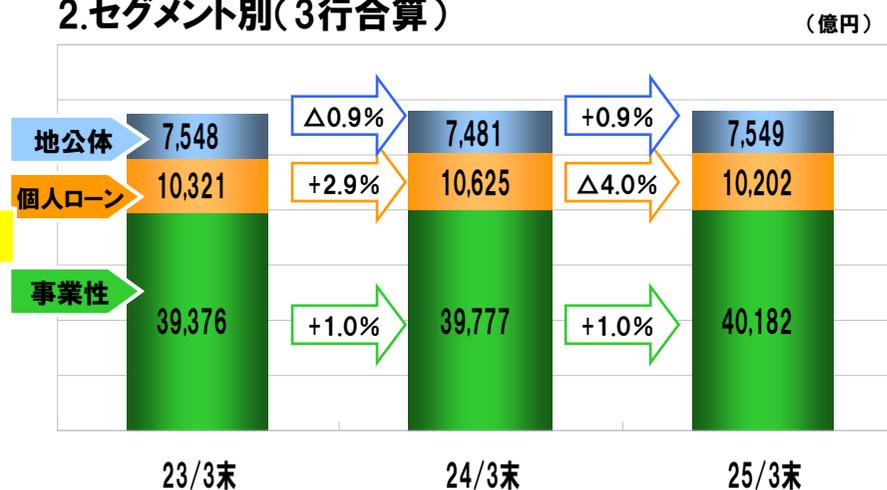
- ◆貸出金：住宅ローン債権の証券化を主因にもみじ銀行の残高は減少したが、3行合算では前期比微増。
- ◆預金：個人預金が前年同期比1,656億円増加するなど、総預金残高は前年同期比1,394億円増加。

## 貸出金

### 1. 銀行別推移

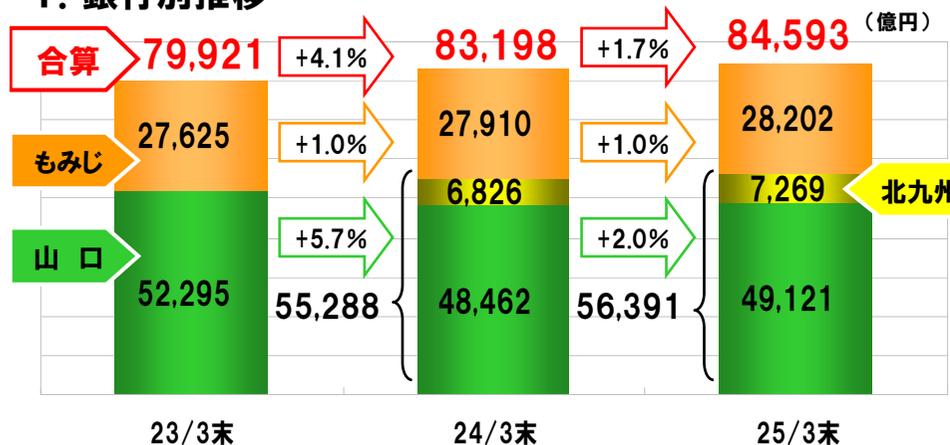


### 2. セグメント別(3行合算)

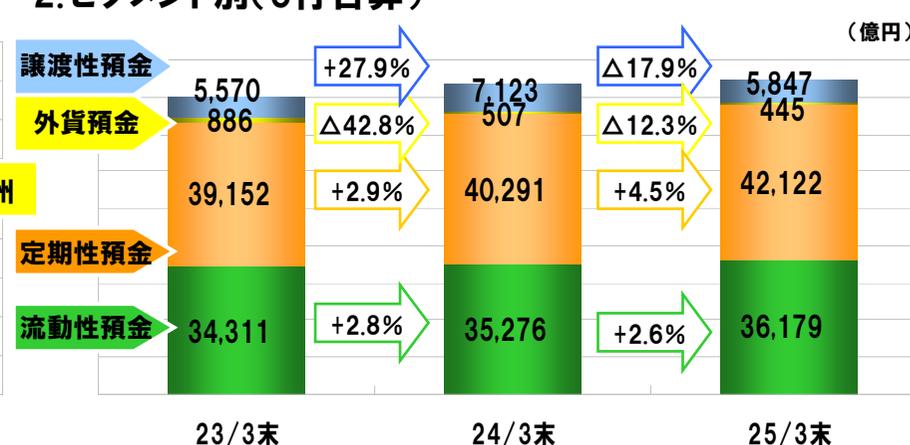


## 預金

### 1. 銀行別推移



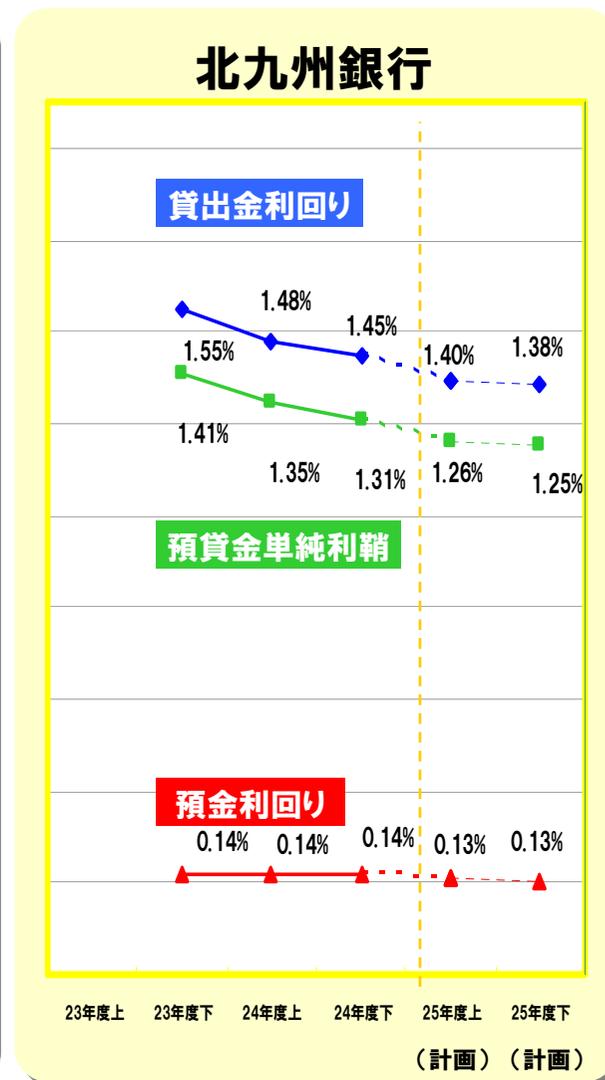
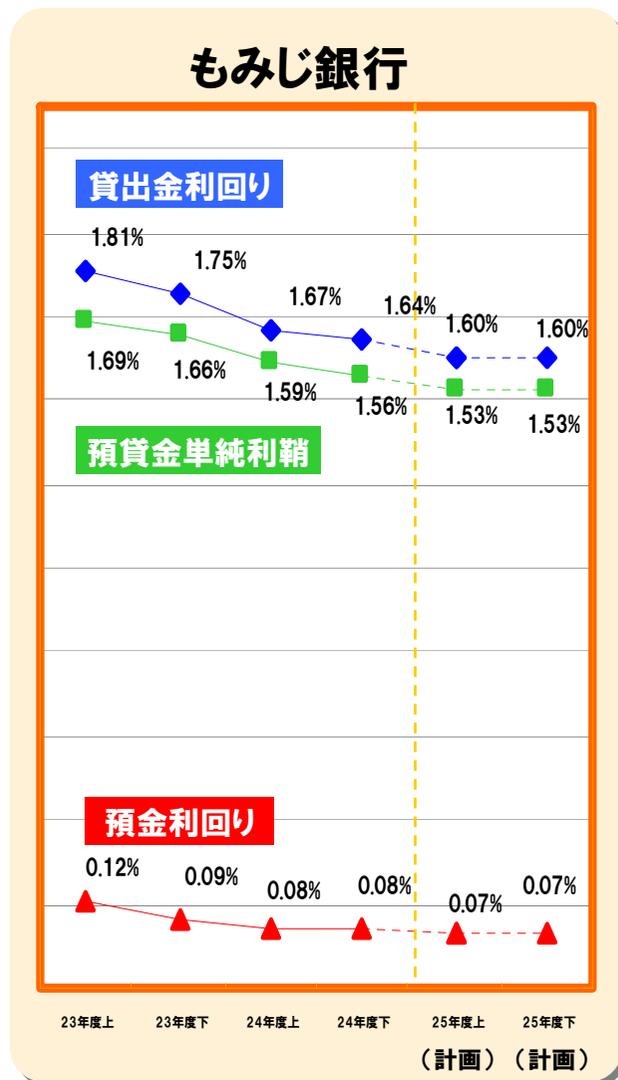
### 2. セグメント別(3行合算)



※記載計数は国内店勘定です。

# 期中平均利回りの推移

- ◆貸出金利回りについては、低金利環境の継続により、貸出金利の低下が見込まれる。
- ◆お客様の潜在的ニーズにお応えし新たな付加価値を提供していくことで、貸出金利の維持・向上を図る。



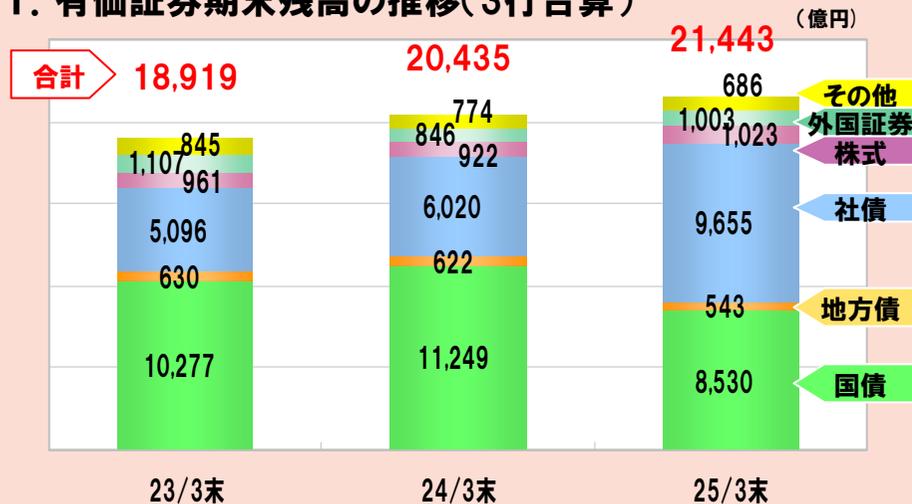
※山口銀行の23年度上半期実績は北九州銀行と合算。

※利回り・利鞘は国内業務部門分(預金についてはNCDを含む)、半期毎の利回りを記載、単位未満を四捨五入で表示。

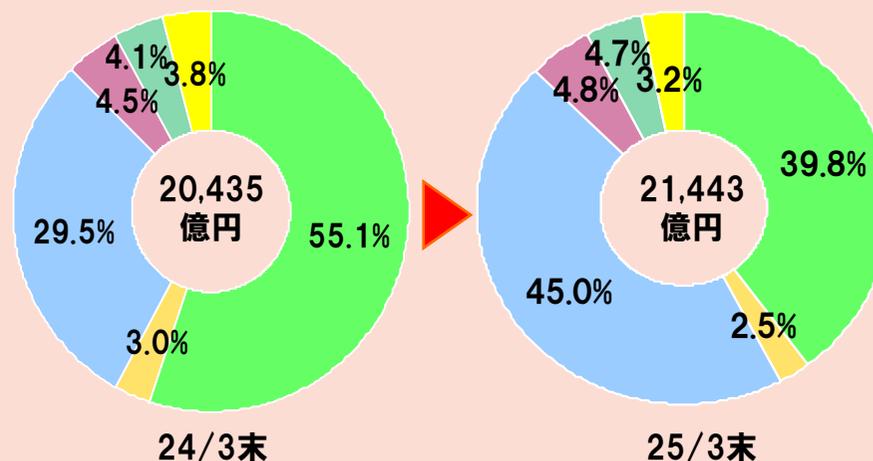
# 有価証券残高・評価損益の状況

- ◆政府保証債を中心とする社債を大幅に増加させ、有価証券期末残高は前期末比1,008億円増加。
- ◆株価の上昇等により、有価証券の評価益は前期比382億円増加。デュレーションは、若干長期化。

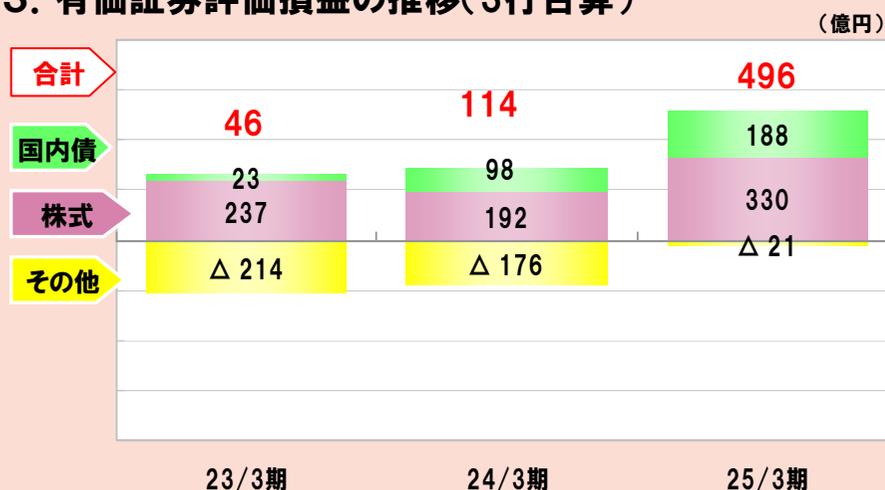
## 1. 有価証券期末残高の推移(3行合算)



## 2. 有価証券構成比(3行合算)



## 3. 有価証券評価損益の推移(3行合算)



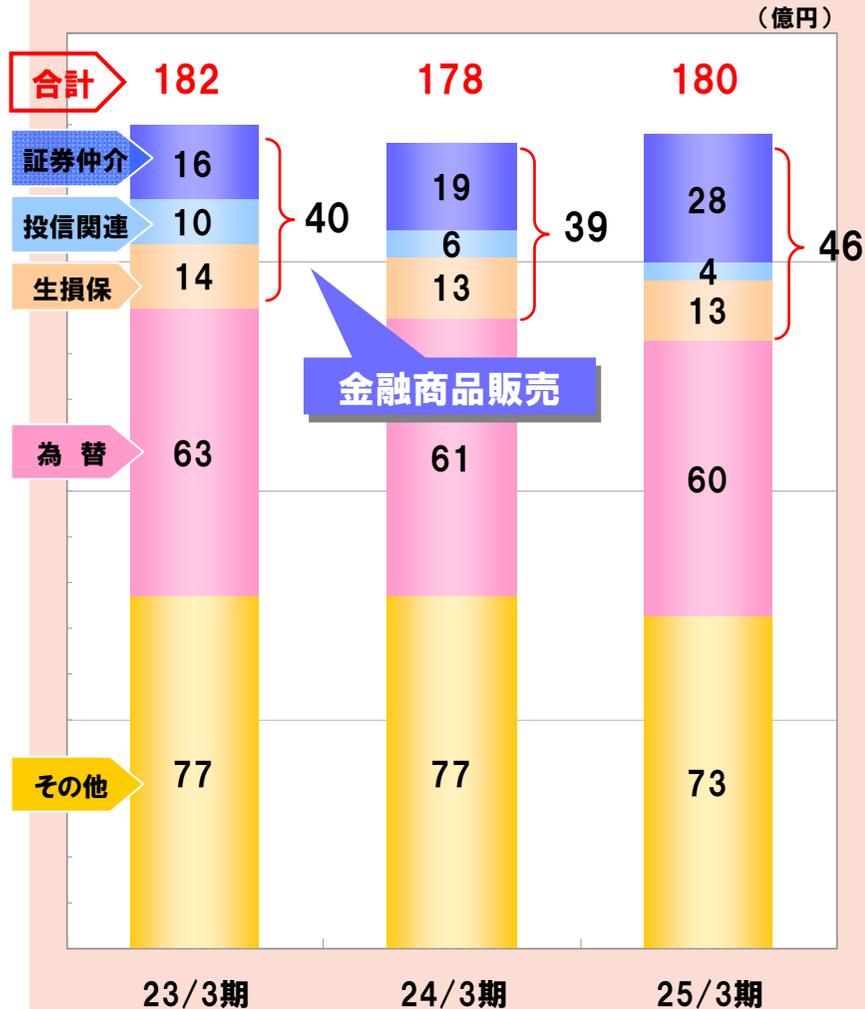
## 4. 保有債券のデュレーション

	24/3期	25/3期	前年同期比
<b>山口銀行</b>			
国内債	4.47	4.57	+ 0.10
外国証券	2.77	4.03	+ 1.26
<b>もみじ銀行</b>			
国内債	4.50	5.06	+ 0.56
外国証券	3.33	3.92	+ 0.59
<b>北九州銀行</b>			
国内債	5.04	4.83	△ 0.21
外国証券	-	-	-

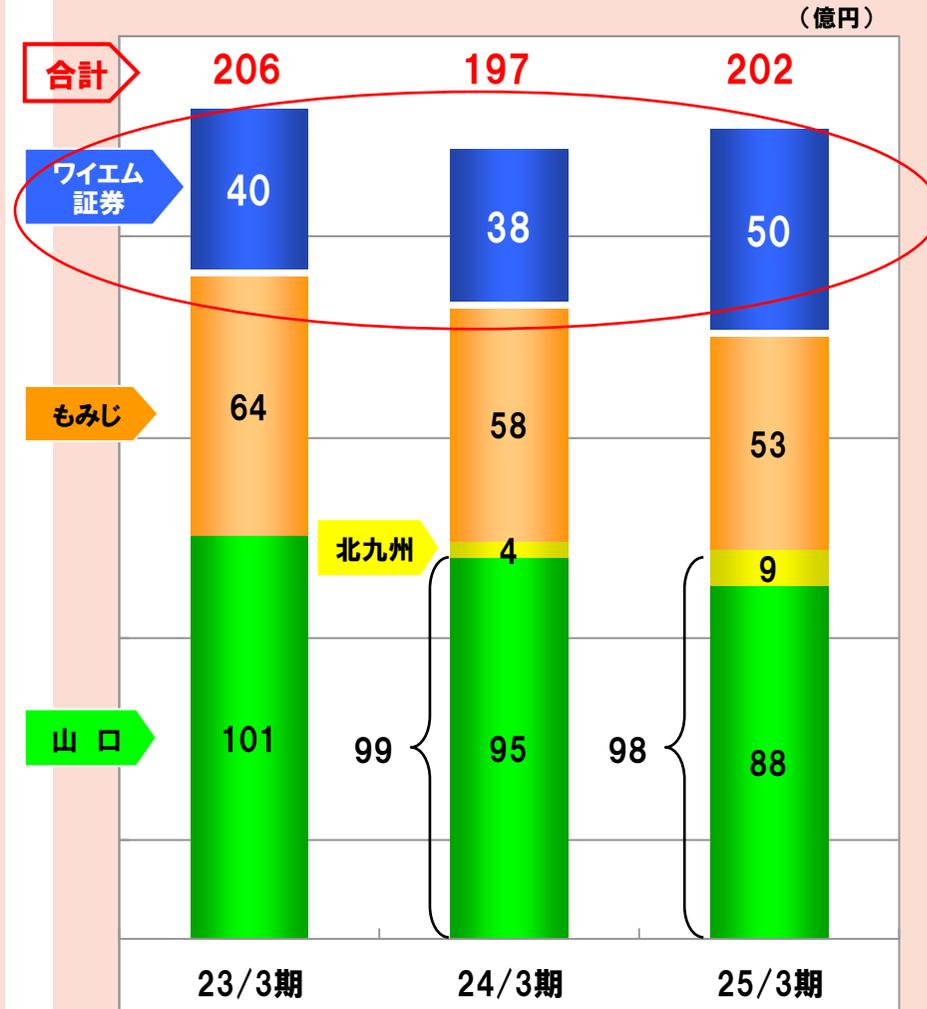
# 役務収益の推移

- ◆グループ会社であるワイエム証券向けの仲介手数料を中心に、金融商品販売関連の収益が順調に増加。
- ◆銀証連携強化によりワイエム証券の役務収益が伸長し、グループ合算の役務収益は**前期比5億円増加**。

## 1. 商品別(3行合算)



## 2. グループ企業別(ワイエム証券を含む)



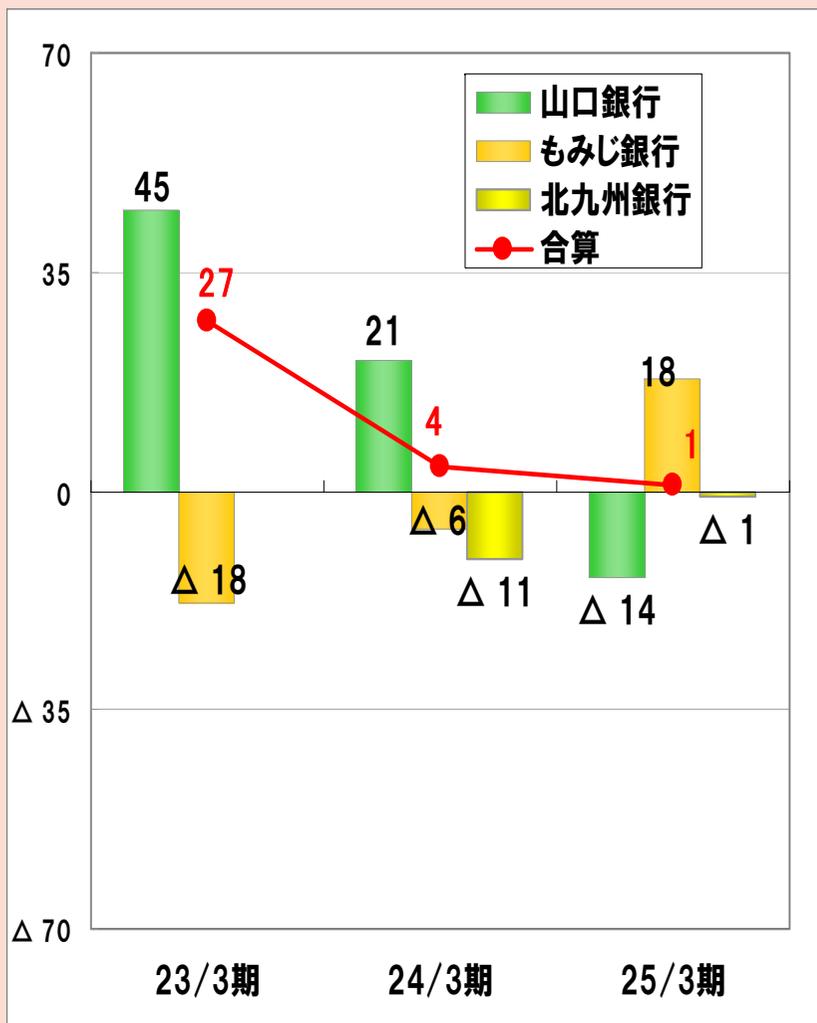
※単位未満切捨て。グループ企業別の数値については、グループ間の相殺処理実施後の数値。

# 信用コストと不良債権の状況

- ◆与信費用は、もみじ銀行で増加したが山口銀行の減少が大きく、3行合算では前期比3億円減少。
- ◆不良債権残高は、危険債権が減少したものの要管理債権が増加し、合計は前年同期と比べ横這い。

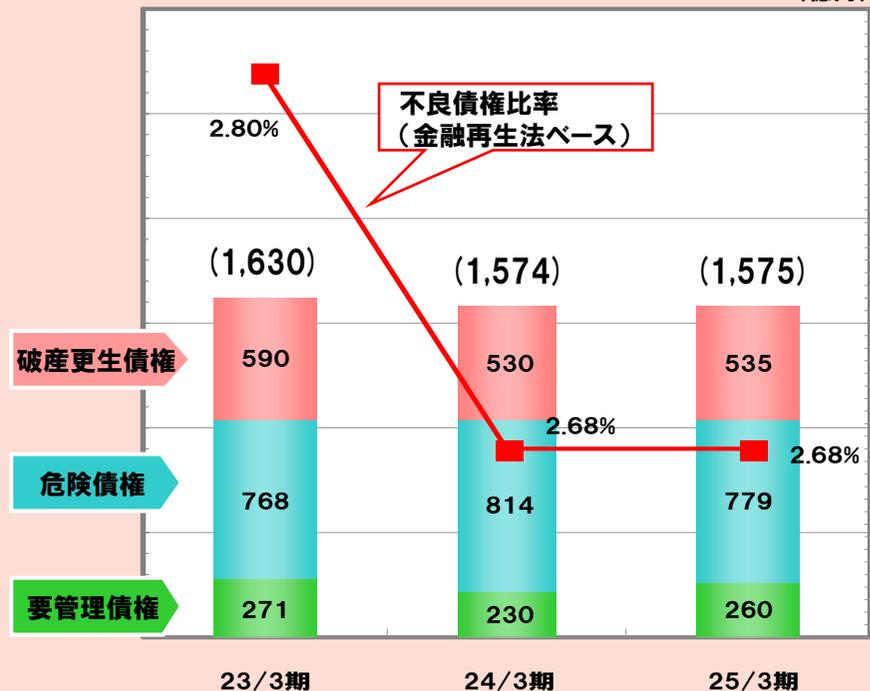
## 1. 与信費用(3行合算)

(億円)



## 2. 不良債権残高と不良債権比率(3行合算)

(億円)



[業種別リスク管理債権](3行合算)

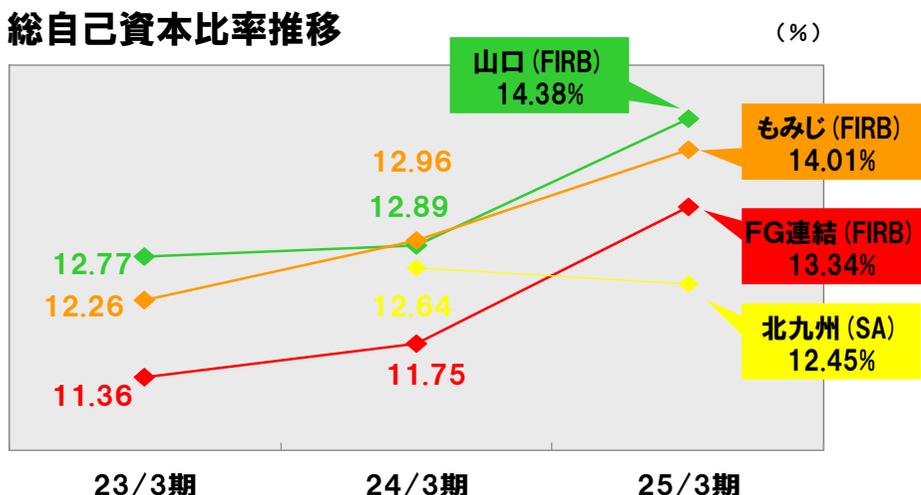
(億円)

	24/3期	25/3期	増減
開示債権合計	1,566	1,565	△0
製造業	245	247	1
建設業	220	207	△13
卸売・小売業	349	273	△75
不動産業	220	192	△28
各種サービス業	280	312	32
その他	249	332	82

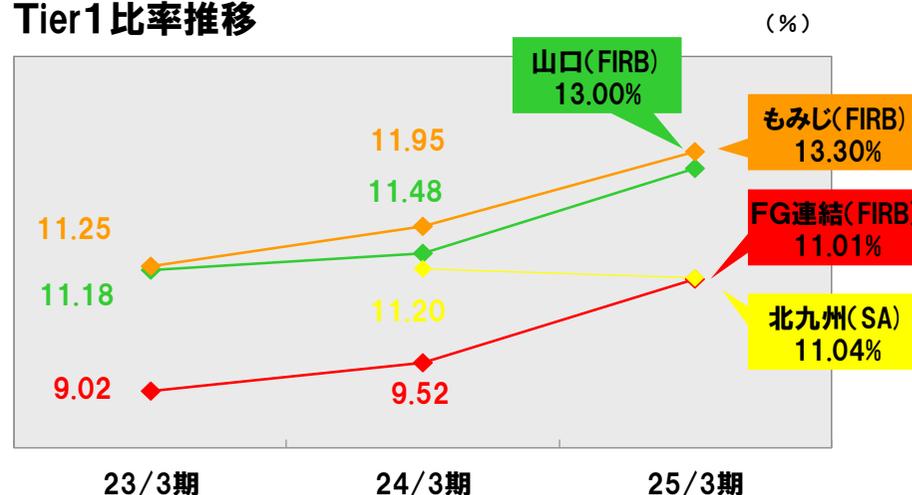
# 自己資本比率の状況と資本政策

- ◆利益の積上げや基礎的内部格付手法を採用したこと等により、自己資本比率は前年同期比上昇。
- ◆25年4月に優先株式全額を取得・消却し発行済株式は普通株式のみとなり、資本の質は改善。

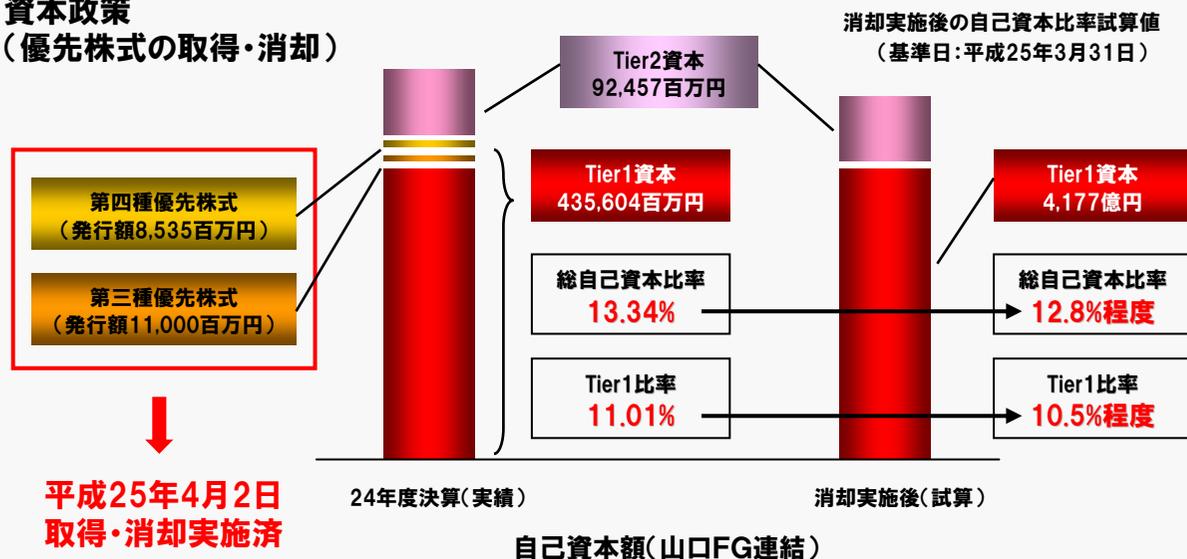
総自己資本比率推移



Tier1比率推移



## 資本政策 (優先株式の取得・消却)



## 資本の質の改善と健全性の維持

- ◆第三種・第四種優先株式195億円全額を取得し消却実施(25年4月)
- ◆これにより優先株式残高は0となり、発行済株式は**普通株式のみ**
- ◆消却実施後の試算で、総自己資本比率12.8%程度、Tier1比率10.5%程度と、バーゼル3における最低所要水準を**十分に上回る水準**を維持

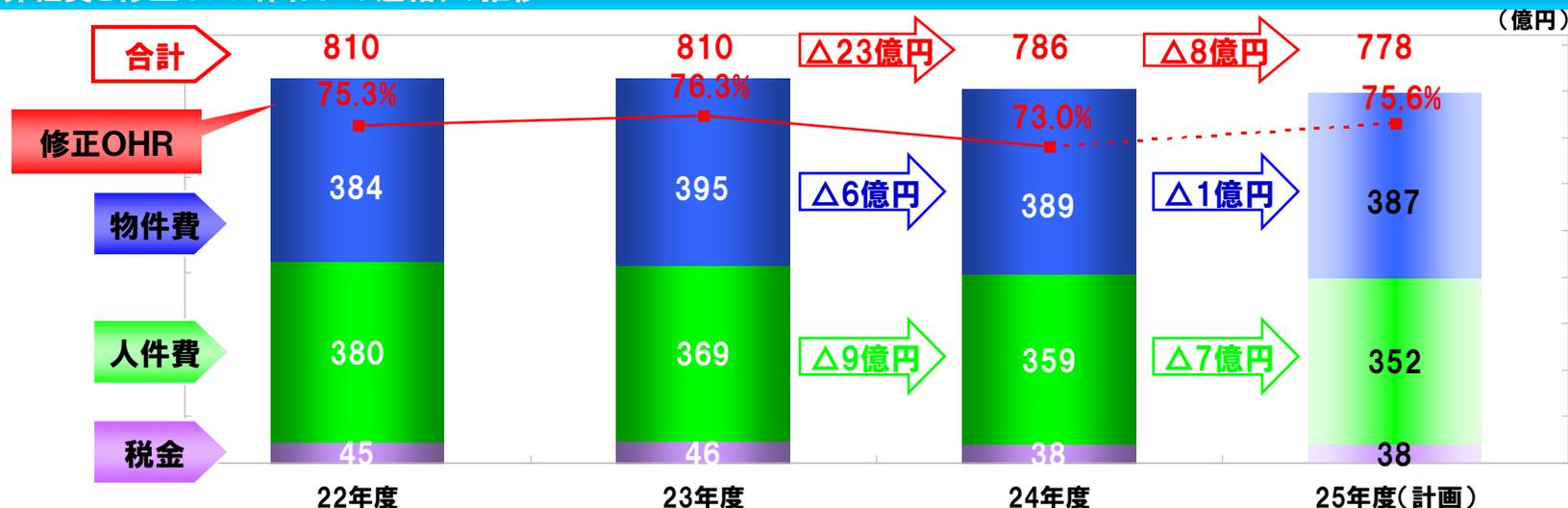
## 資本調達コストの削減

- ◆年間約5億円の資本調達コスト削減となる

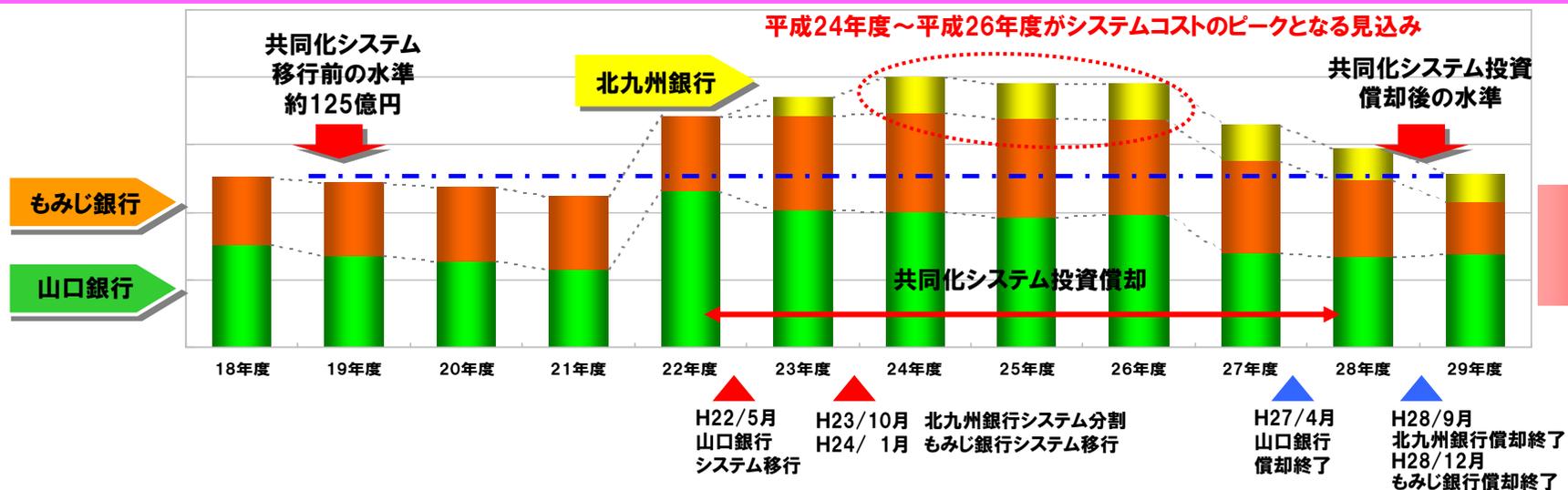
# 経費の推移と見通し

- ◆システム経費は平成24年度から平成26年度がピークとなるが、平成27年度以降は漸減見込。
- ◆システム・事務共通化の効果を最大限に活かし、営業部門の強化によりトップライン収益を増強させる。

## 3行合算経費と修正OHR(山口FG連結)の推移



## システムコストの推移(イメージ図)



# 平成26年3月期の業績予想

平成26年3月期は、貸出債権証券化に伴う譲渡益の計上がなくなり、平成25年3月期と比較し経常利益、当期純利益とも減少する見通し。資金利益や役務取引等利益など銀行の本源的な収益の増強を図る。

## 1. 山口FG連結業績予想

(単位:億円)	YMFG連結	
	通期予想	25/3比
コア業務粗利益	1,177	△ 8
コア業務純益	310	△ 9
経常利益	400	△ 38
当期利益	240	△ 32
ROE	5.0%	△ 0.5%
総資産	100,000	6,727
自己資本比率	12.5%	△ 0.8%

## 2. 3行合算業績予想

(単位:億円)	3行合算	
	通期予想	25/3比
コア業務粗利益	1,115	△ 13
資金収支	959	14
役務収支	134	29
経費	778	△ 8
人件費	352	△ 7
物件費	387	△ 1
コア業務純益	336	△ 5
経常利益	430	△ 27
当期利益	280	△ 24
与信費用	4	2

## 3. 各行単体業績予想

(単位:億円)	山口銀行 + 北九州銀行		山口銀行 通期予想	北九州銀行 通期予想
	通期予想	25/3比		
コア業務粗利益	731	43	616	114
資金収支	625	15	524	101
役務収支	88	15	77	10
経費(△)	477	△ 7	385	91
人件費(△)	213	△ 4	170	42
物件費(△)	240	△ 4	196	43
コア業務純益	254	51	231	23
経常利益	310	23	285	25
当期利益	195	15	180	15
与信費用	0	17	△ 1	2

(単位:億円)	もみじ銀行	
	通期予想	25/3比
コア業務粗利益	383	△ 57
資金収支	334	△ 0
役務収支	46	13
経費(△)	301	△ 0
人件費(△)	138	△ 3
物件費(△)	147	3
コア業務純益	81	△ 57
経常利益	120	△ 50
当期利益	85	△ 40
与信費用	3	△ 15

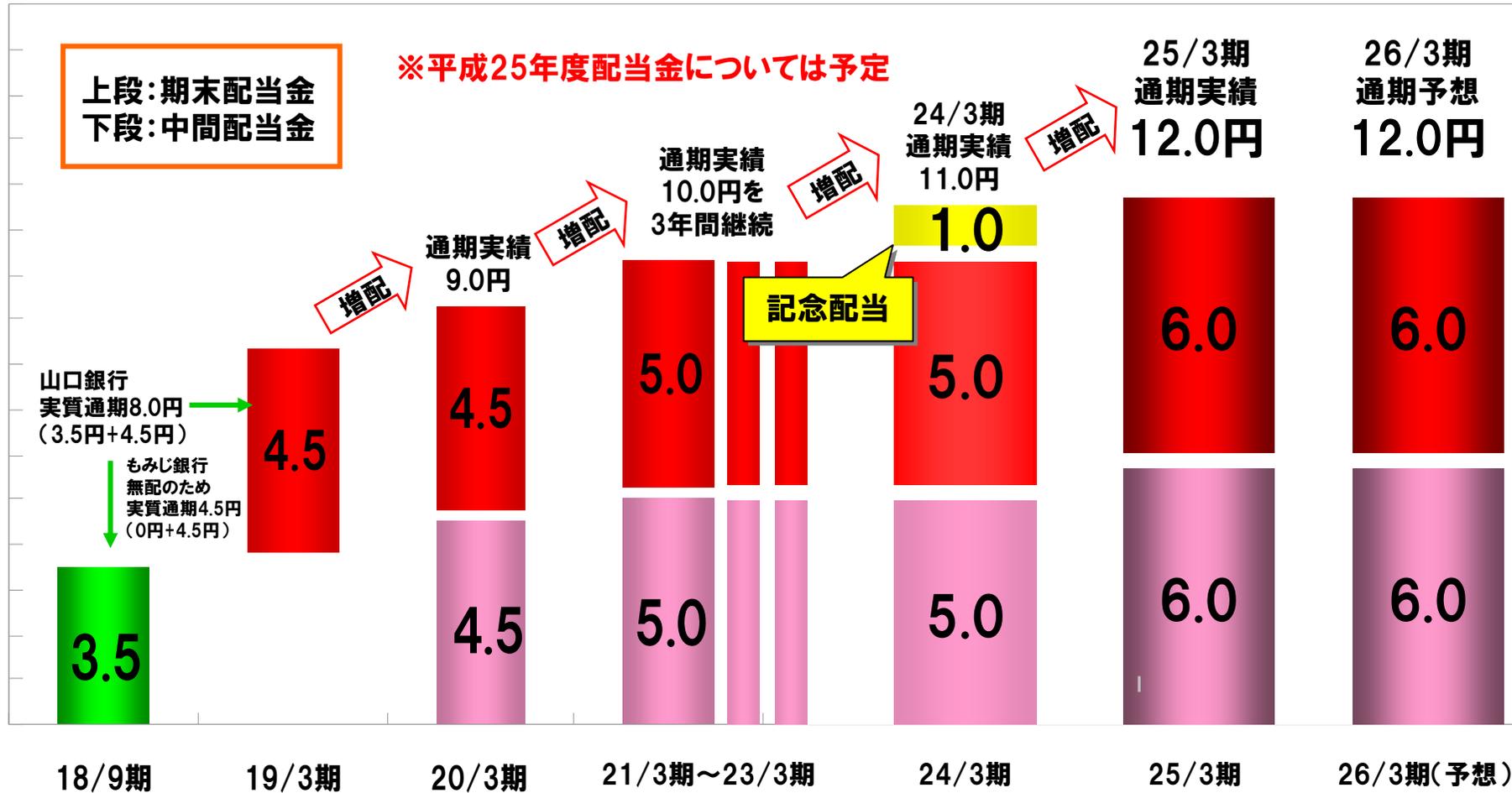
※記載金額は、単位未満を切捨て表示

# 配当実績・計画

- ◆25/3期中間配当金は、24/3期中間期の普通配当5.0円と記念配当1.0円、合計6.0円を維持。
- ◆25/3期通期では、**2年連続して増配**となる年間12.0円の配当実績。26/3期も、25/3期と同額予想。

## 配当実績および予想

(円)



統合前実績

山口FGの配当実績・計画